

学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例（令和6年度版）

学校名	指宿市立柳田小学校	児童生徒数	378 人
-----	-----------	-------	-------

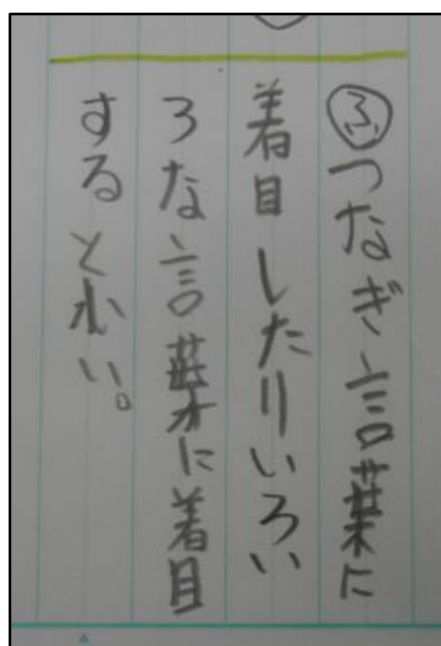
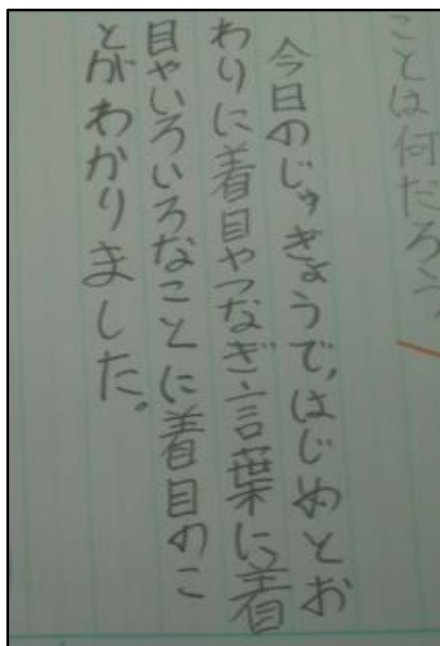
○ 令和5年度 振り返りの実際

成果

- 「振り返り」については、
 「わ・・・わかったこと」
 「で・・・できるようになったこと」
 「か・・・考えが変わったところ」
 「い・・・生かしたいこと」
 「も・・・もっと知りたいこと」
 の視点で書くようにした。



- ロイロノートでグループの考えをまとめたり、共通点や相違点について話し合ったりすることで、子供たち自らが気づき、児童の言葉でまとめることができました。子供たちの「振り返り」から、次の学習へと活かすこともできた。



課題

- 振り返りを行うことで、本時の学習内容の確認、次時への意欲が高まった。
 ○ 振り返りの時間を確保することができないこともあったので、一単位時間の基本的な流れについても研究を深めた。
 ○ ロイロノートを活用したり書いたり、学級によって様々な取組があった。
 ○ 何を書けばよいか明確にするために視点を共通理解した。

改善策

○ 「振り返る場の工夫を行うことで、学習者主体の授業を成立させることができるのではないか。」という研究の視点のもと全校体制で取り組んだ。

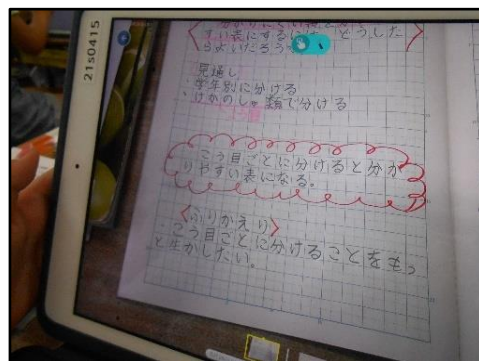
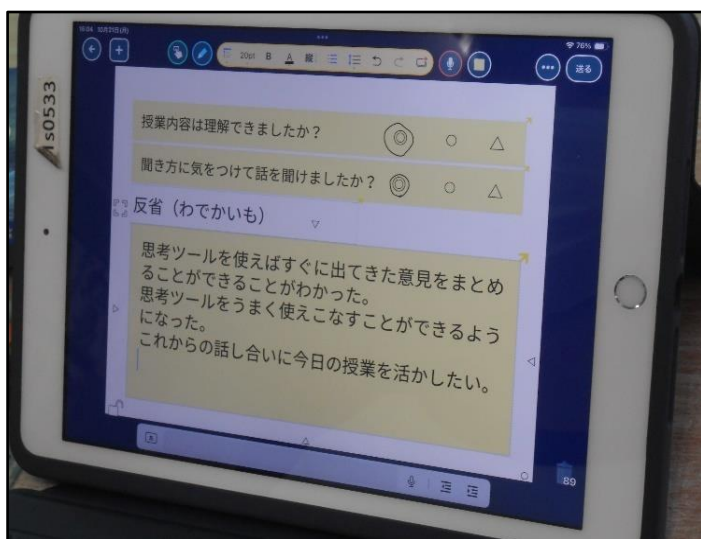
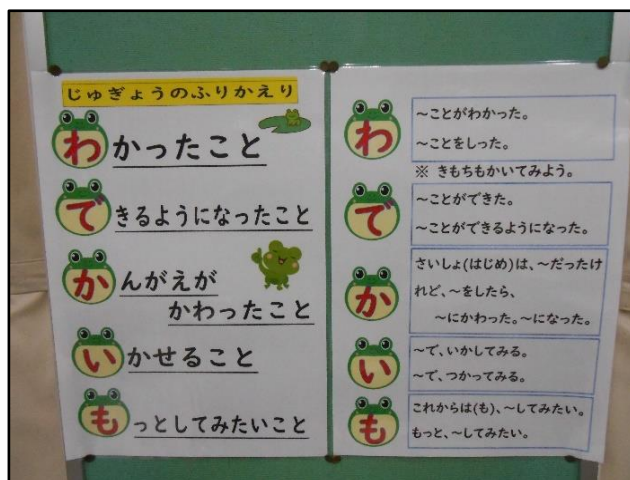
① 振り返りの観点「わ・で・か・い・も」

(全クラス掲示)

② 3分以上時間確保

③ 子供たちの実態に合った振り返り

(ICT・ワークシート)



成果等

○ 全学級で共通実践することができた。進級しても同じ視点でスムーズに取り組むことができる。

○ 上学年では、タブレットを活用した振り返りも行っている。振り返った内容をどのように共有していくか研究を進めていく。

○ 振り返りの時間確保を継続するとともに、タブレットでの入力文字数、ノート記述文字数など検討していく必要がある。

○ 学年の発達の段階に応じた振り返りの方法について研究していく。